

## 入学式 式辞

ようやく春が訪れ、生命の息吹が感じられる季節となってまいりました。  
本日、ここに令和4年度入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

入学生のみなさん。ご入学、おめでとうございます。  
全教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。そして、これまでみなさんを支え成長を見守ってこられたご家族のみなさまにも、衷心よりお慶びを申し上げます。

ただいま、大学院8人、大学院転入学2人、大学381人、三年次編入学11人、短期大学部129人、計531人の入学を許可いたしました。

みなさんは、今から、兵庫大学・兵庫大学短期大学部の学生です。今日という日は、自らの進路をたくましく切り拓くための、成長の第一歩を刻んだ日でもあります。本日、皆さんを新入生としてお迎えできることをとても嬉しく思うと共に、皆さんが兵庫大学・兵庫大学短期大学部で実り豊かな学生生活を築かれることを期待しています。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な制約がある中で、私たちの生活様式も様変わりしています。新しい生活様式は、単なる生活スタイルの変化に留まらず、価値観の多様化や生き方そのものを問うに至っています。多くのことが変化していく中で、変化を恐れず、許容しながらも、物事の本質を見極め挑戦し続けることが大切です。本学においても、これまで大切にしてきた「学生に寄り添い共に成長する丁寧な教育」を今一度再確認しながら、多くのことに挑戦し続けています。

本学のことを少しご紹介させていただきます。

大学は、地元からの強い要請を受け、平成7年に設置されました。その間、時代のニーズに対応し新たな学部を設置するなど、社会に求められる人材の養成に努めてまいりました。

短期大学は、幼児教育を担う教員養成を行うために、昭和29年に設置された幼稚園教員養成所が前身となっています。昭和29年というと、第二次世界大戦が終わり、混乱した社会もようやく落ち着きを取り戻し始めた、そのような時期です。「人を育てる」という一貫した思いは、現在も受け継がれ、保育科におきましては、67年の伝統を持っています。

現在は、大学院2研究科、大学4学部、短期大学は2学科からなる総合大学として、発展を遂げています。その間、約3万5千人もの学生が本学を巣立って社会の第一線で活躍しています。

このような伝統の中で、本学が大切にしているのが、建学の精神です。

建学の精神とは、大学を設立する際、どのような目的で大学を創るのか、そして、どのような学校にしたいのかという思いを明示したものです。

本学の建学の精神は、聖徳太子の「十七条憲法」第一条の「和を以て貴しと為す」に示された「和」です。自分の心を大切にしながら、他者の心も大切にする、他者の思いを受け入れることを説いています。一言で表現すれば、「互いを尊び互いを活かしあう」ということです。皆さんには、心の優しい、人の心の痛みに寄り添える、そして優しさの中にも芯を持った人、強さだけではなくしなやかさを備えた人に育ってほしい、と願っています。

今日、新しい学生生活がスタートします。勉強はもちろん、クラブ活動やボランティア活動などにも積極的に参加し、仲間と共に努力し、支えあい、分かち合う経験をたくさんしていただきたいと思います。学生生活は楽しいこと、苦しいこと、様々なことがあるでしょう。それらは全て、皆さんの人生の根っことなり、やがて大きな大輪の花になっていくものと信じています。

皆さんが学生生活を送られる間にも、社会はめまぐるしく変化していきます。世の中の動きを敏感に感じ取り、色々な事柄にチャレンジし、大きく成長してください。みなさんが、こころ豊かな、充実した学生生活を送られることを念じまして、式辞といたします。

令和4年4月3日

兵庫大学・兵庫大学短期大学部  
学長 河野 真